

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	67	学校名	仙台市立柞江小学校	校長名	毛利 雄一
------	----	-----	-----------	-----	-------

- 1 取組のタイトル、テーマ
身近な自然から学ぼう

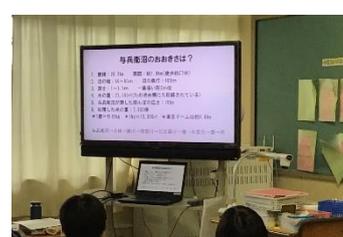


- 2 取組の紹介

地域の豊かな自然「柞江の森」と「与兵衛沼」についての学習を行っています。校内と地域の自然を身近な教材として、どの学年も豊かな自然に親しんでいます。

3年生は「与兵衛沼のすてきを見つけよう」をテーマに、季節毎に与兵衛沼へ探索に行きました。春夏秋冬それぞれの与兵衛沼と周りの自然からたくさんの「すてき」を発見しました。見つけた「すてき」について調べ、友達に紹介しました。

さらに、ゲストティーチャーに来ていただき、与兵衛沼の歴史などについて御講話をいただきました。



5年生は「柞江の森を守り継ごう」をテーマに学習活動を進めました。

柞江の森を探検し、豊かな自然を観察し、見つけた木の種類などを調べました。

「仙台・市民の森を創る会」の方々にも御協力をいただき、身近な蔦や木の実を使ってリースを作ったり、実際に木を切ったりなどの体験をすることができました。地域の方々の思いや願いについても御講話いただき、森の大切さや、間伐の重要性についても学びました。

ゲストティーチャーに来ていただき、土壌についての実験を行いました。豊かな土壌を守るためには、森林が必要だと気づきました。



全学年と美化緑化委員会では、学年花壇に季節の花の苗と球根を植えました。

生活科と理科の学習で、1年生は朝顔と二十日大根、2年生はミニトマト、3年生はオクラ、4年生はヘチマ、6年生はジャガイモとキャベツ、ひまわり学級ではズッキーニやミニトマトなどを栽培、観察、収穫しました。

- 3 取組の成果（児童生徒の変容）

地域や校内にある自然について、体験活動や調べ活動を行うことによって、より身近に感じ、愛着を持つことができました。

また、地域の方々から「柞江の森」や「与兵衛沼」について御講話をいただくことで、地域の方々の願いや思いを知り、この地域の自然を守り継ごうという意識をより高めることができました。